

『ねないこだれだ』誕生50周年記念

せなけいこ展

『ねないこだれだ』や『めがねうさぎ』の作者として知られる絵本作家のせなけいこ（1931-）は、1969年、子育てに奔走する中、37歳で絵本作家としてデビューしました。以来、おばけや妖怪、うさぎなどをモチーフに、貼り絵の手法を用いて生み出したシンプルながらも独創的な絵本は、世代を越え、多くの親子に読み継がれるロングセラーとなっています。

本展では、代表作のひとつ『ねないこだれだ』の誕生50周年を記念し、絵本デビュー作の「いやだいやだの絵本」4冊シリーズをはじめとする絵本原画や貴重な資料など、約250点を出品。これまであまり知られていなかった、絵本デビュー前の幻燈や紙芝居の仕事もひもとき、せなけいこの創作の全貌を紹介します。会場には楽しい仕掛けもご用意し、小さなお子さんにも楽しんでいただける展覧会です。

2019年7月以降、横須賀美術館を皮切りに全国各地を巡回した展覧会が、北関東に初上陸します。当館が最終会場となりますので、お見逃しなく！

■ 開催概要 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、会期・内容等が変更になる可能性があります。

展覧会名	『ねないこだれだ』誕生50周年記念 せなけいこ展
会期	2021年7月10日（土）～9月5日（日）
休館日	毎週月曜日（ただし8月9日は開館）、8月10日〔火〕
開館時間	9時30分～17時（入館は16時30分まで）
入館料	一般1000（900）円、大学生700（630）円、高校生以下は無料 <small>※（ ）内は20名以上の団体割引料金</small> <small>※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、日光市公共施設使用料免除カードの交付を受けた方とその付き添いの方1名は無料</small> <small>※第3日曜日「家庭の日」（7月18日、8月15日）は、大学生は無料</small> <small>※7月25日〔日〕は、「親子の日」につき、お子様（高校生以下）連れの保護者の方は、2名まで無料</small>
主催	公益財団法人 小杉放菴記念日光美術館／日光市／日光市教育委員会／朝日新聞社
後援	一般社団法人日本国際児童図書評議会／絵本学会
協力	偕成社／KADOKAWA／金の星社／鈴木出版／童心社／福音館書店／ポプラ社

■ 展覧会の見どころ

1. デビュー作「いやだいやだの絵本」や、 「あーんあんの絵本」各4冊シリーズの原画をすべて公開

- 「いやだいやだの絵本」(1969年)・・・「いやだいやだ」「ねないこだれだ」「もじゃもじゃ」「にんじん」

息子さん好きなディック・ブルーナの「うさこちゃん」の続きをつくろうと、ポスターの裏紙を台紙に、包装紙やチラシといった身近な紙を貼り絵にした手づくり絵本がもとになりました。この絵本シリーズの判型も「うさこちゃん」と同じサイズです。ねないこをおばけが連れて行ってしまおう代表作「ねないこだれだ」や、にんじん嫌いの息子さんがにんじんを美味しく食べられるようにと描いた「にんじん」などが含まれます。発売の翌年には、サンケイ児童出版文化賞を受賞しました。



1 『ねないこだれだ』
(1969年、福音館書店)



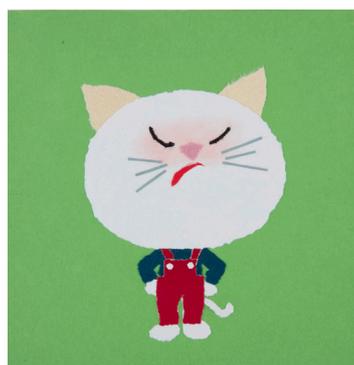
2 『ねないこだれだ』
(1969年、福音館書店)



3 『いやだいやだ』
(1969年、福音館書店)

- 「あーんあんの絵本」(1972年)・・・「あーんあん」「きれいなはこ」「ルルちゃんのくつした」「ふうせんねこ」

「いやだいやだの絵本」から3年後、おなじ「おかあさんのつくった絵本」として発売。娘さんがモデルとなった「ルルちゃんのくつした」など、まだ小さかった子どもたちと過ごす中で浮かんだアイデアがふんだんに盛り込まれています。



4 『ふうせんねこ』
(1972年、福音館書店)



5 『ルルちゃんのくつした』
(1972年、福音館書店)

2. デビュー前の仕事も紹介

銀行に勤めながら、19歳で童画家・武井武雄の弟子となり、雑誌の挿絵や紙芝居、幻燈などを手がけながらキャリアを積んでいたころの仕事を紹介。すでに貼り絵の技法がみられたり、セロファンを用いた紙芝居「色影絵透視紙芝居」を制作したり。当時のスケッチなども交えながらデビュー前の軌跡をたどります。

3. 人気の「めがねうさぎ」シリーズの原画

現在まで読み継がれる代表作の一つ「めがねうさぎ」シリーズ。めがねが必要になった小学生の息子さんが楽しくめがねをかけられるようにという思いから生まれました。「めがねうさぎ」「おばけのてんぷら」の原画をすべて公開。



6 『おばけのてんぷら』
(1976年、ポプラ社)

4. おばけとゆうらい

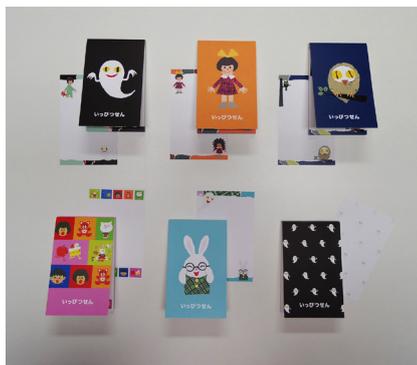
せなけいこの主要な題材の一つであるおばけとゆうらい。「ゲゲゲの鬼太郎」が好きだった息子さんが友達になれるおばけを、と思ったのが描くきっかけとなり、また噺家の夫のおかげで落語から題材をとった作品もあります。「ひとつめのくに」「くずかでおばけ」などからえりすぐった原画により、おばけとゆうらいの絵本の世界をご覧ください。

5. 近年の動きも紹介

2000年代に入って、20年以上の時を経て「めがねうさぎ」の新作が出版されたり、かつての幻燈や紙芝居などとして世に出た作品が、絵本として新たに出版されたりと、新しい動きが出てきました。「めがねうさぎのクリスマスったらクリスマス」「おばけのばあ」「メロウ」などの原画をご紹介します、数十年を経ても色あせない、せなけいこの作品の魅力をご覧ください。

■ オリジナルグッズ販売

会場でしか手に入らない 展覧会オリジナル 商品 をはじめ、様々なせなけいこ関連グッズを販売します。展覧会図録、ポストカード、マスキングテープ、缶バッジ、グラス、めがねケース、Tシャツ、トートバッグ、絵本などを取り揃えております。※デザイン等が変更になる可能性があります。



一筆箋 (全6種類)
税込各 330 円



スマホケース (全4種類)
税込各 3,300 円



グラス
税込 1,650 円

■ 関連イベント

● ワークショップ「ちぎってはってカラフルどうぶつをつくろう！」

日時：7月25日 [日] 10時～、14時～ (各回2時間程度)

会場：当館 体験実習室 参加費：500円

講師：やないふみえ氏 (童画家)

対象：4歳～小学校6年生 (小学校3年生以下は保護者同伴)

定員：各回8名程度

申し込み方法：当館へ電話で申し込む (7月5日 [月] より申し込み開始)

● 担当学芸員によるギャラリートーク (予約不要・要入館料)

7月18日 [日]・8月21日 [土] 各日11時～ (各回1時間程度)

■ 本展に関するお問い合わせ先

小杉放菴記念日光美術館
〒321-1431 栃木県日光市山内 2388-3
Tel: 0288-50-1200 Fax: 0288-50-1201
担当学芸員：清水友美
E-mail: shimizu-tomomi@khmoan.jp

『ねないこだれだ』誕生 50 周年記念 せなけいこ展
広報用画像申込書

FAX: 0288-50-1201 E-mail: shimizu-tomomi@khmoan.jp

小杉放菴記念日光美術館 清水行

■ 画像使用に際してのお願い

- ご希望の図版の左枠内に を入れて、FAX かメールにてお送りください。
(リリース中の図版に付された 1～6 が、図版番号です)
- 使用目的は、本展のご紹介のみに限ります。
- 画像は、原則、全図でご使用ください。トリミング、部分使用、文字のせは無断で行なわないよう、お願いいたします。
- 掲載する場合は、各画像のキャプションとクレジットを必ず記載してください。
- 画像のご使用は 1 申込につき 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- 基本情報確認のため、展覧会担当まで必ず校正紙をお送りください。
(確認に 3 日程度、お時間を頂戴いたします)
- 掲載見本を展覧会担当までご送付いただきますよう、お願いいたします。

<input type="checkbox"/>	No	キャプション	クレジット
<input type="checkbox"/>	1	『ねないこだれだ』(1969 年、福音館書店)	©Keiko Sena
<input type="checkbox"/>	2	『ねないこだれだ』(1969 年、福音館書店)	©Keiko Sena
<input type="checkbox"/>	3	『いやだいやだ』(1969 年、福音館書店)	©Keiko Sena
<input type="checkbox"/>	4	『ふうせんねこ』(1972 年、福音館書店)	©Keiko Sena
<input type="checkbox"/>	5	『ルルちゃんのくつした』(1972 年、福音館書店)	©Keiko Sena
<input type="checkbox"/>	6	『おばけのてんぷら』(1976 年、ポプラ社)	©Keiko Sena

貴社名:

媒体名:

ご担当者名:

TEL:

FAX:

E-mail:
